

4 . 環境整備 人権標語の取り組み

(1) 六ちゃん水族館



廃物利用から始まり、昭和60年以来続いている。

玄関の横には、大小様々な水槽が並べられ、「六ちゃん水族館」として児童に親しまれている。熱帯魚をはじめ、キンギョ、コイ、フナ、カメ、タナゴ、オイカワ、カワムツなど多くの生き物が飼われている。

このコーナーは、児童の待ち合わせ場所に使われることも多く、水槽を囲んで話の輪が広がるなど、異学年交流の場になっている。中には毎日必ず見に来て、魚の話をしたり、教師に魚の状態を報告にきたりする児童もいて、生き物や命の大切さを感じている。

(2) 植物 ・ 一人一鉢栽培

校内には、サクラ、ツバキ、アジサイ などの季節を伝える花と、カキ、ビワ、夏ミカン、クワ、ナシなどの実のなる木が子供たちを楽しませている。

また、一人一鉢栽培で小菊やアサガオやパンジーなどを子供たちが育てている。花でいっぱいの学校は、児童だけではなく地域の方々も含めて、心を和ませている。



(3) 六瑞美術館・ミニミニ美術館

児童の日常の環境として、都電側歩道脇に「六瑞美術館」を設けた他、校内の廊下、掲示板などに児童の作品を貼り出している。職員室前にある「ミニミニ美術館」には、年間を通して様々な学年の児童が描いた作品を展示している。児童一人一人を知る上でも児童相互の交流を深めていく上でも、重要な役割を果たしている。

児童作品や学校行事の活動の様子などの発表の場として活用し、多くの地域の方々や保護者の方々に見てもらえるようにした。今後も、さらに豊かな美術館にするとともに、校内の環境整備にも努力していきたいと考えている。

(4) 人権標語

毎年、全校で人権標語作りの取り組みをしている。

学級ごとに発達段階に応じた指導を行い作っているが、その際、家庭にもはたらきかけ、家族の人たちに協力してもらって作るようにしている。家庭で一緒に考えてもらうことで、学校の取り組みを理解し、人権に関心をもってもらう機会にもなっている。作品は短冊に清書し、学級ごとに玄関前の壁面に掲示し、互いの標語を見合うことができるようにしている。また、学級ごとに話し合っただけのクラス標語は、「六瑞の道」にある掲示板に掲示し、地域の方々にも人権に関心をもってもらう機会にしている。

平成20年度『人権標語』のクラス標語

1年1組	あかるく なかよく たすけあい
2年1組	六ずいは みんな なかよし お友だち
3年1組	思いやり みんな仲よく わらってる
4年1組	いじめのない なかよく楽しい 六ずいっこ
5年1組	助け合い 協力・声かけ みんな仲良し
6年1組	思いやり 心が通う コミュニティー
すずらん	友だちさそって みんなでわいわい なかよくあそぼう

